

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	“コンパクトヴィレッジ山形村”地域の賑わい創出のための産業振興事業
事業主体 (連絡先)	山形村商工会 東筑摩郡山形村2025-8
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,410,803円 (うち支援金: 1,021,000円)

### 事業内容

山形村の商工業者の商品や製品、農産物を含む特産物を広く村内外に宣伝・紹介、販路開拓を図るため、「山形村じゃんずら」や「道祖神と新そば祭り」に合わせ「山形村産業フェア」を開催し地域の賑わいを創出する。

「第35回山形村じゃんずら」と同時開催  
・「ミニ産業フェア」【飲食関係出展】の開催実施  
(8月14日) 出展企業数9社

「第30回道祖神と新そば祭り」と同時開催  
・「第4回山形村産業フェア」の開催実施  
(11月10日) 出展企業数17社

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①備品類等(テント・音響・発電機)を充実・整備することで、準備の中心的役割を担っている青年部員やスタッフの減少している中、スムーズは設営ができた。音響に関しても、準備での全体への指示や、開催中の出展者の紹介などしっかりと出展企業のPRをすることが可能となった。また、年々、出展者側も創意工夫を凝らす出展内容になって来ている中、発電機があることで出展内容を充実することができた。
- ②各種チラシを作製することにより、出展企業のPRに繋がり来場者の増加や住宅なんでも相談の相談増加となった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この産業フェアに対して、出展者の満足度は高く、新規出展者も増加することが予想される。継続開催するためには、スタッフ間の連絡手段等更なる創意工夫が今まで以上に必要となってくる。また、来年度は工夫をして出展企業のPRは勿論のこと、出展企業以外の村内企業のPR方法や情報発信を違った形で考え、販路拡大に役立てていくような産業フェアに取り組む。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【第4回山形村産業フェアの様相】

### 【目標・ねらい】

- ①会場内の備品類充実による継続開催の実現
- ②村内商工業者等の販路開拓・拡大を目指したPR活動

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

- ・会場内でスタッフ間の連絡手段がなく課題が残った。
- ・新規出展企業あり、出展者側からも、自社のPRの場としてとても良いとの評価を頂いた。